

【公表】 児童発達支援・放課後等デイサービス評価集計結果

事業所名：つばめ会

(公表日／2021年2月1日)

【回答率／ALLつばめ：63.5% (47/74件)】

①つばめ 15/30：50% ②児童発達 8/8：100% ③闘竜舎 11/18：61.1% ④Glowing 13/18：72.2%

(保護者等の皆様から)

この評価表は、児童発達支援センター、児童発達支援事業所又は放課後等デイサービス事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただいたものです。

「はい」・「どちらともいえない」・「いいえ」・「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」をご記入いただいたものです。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	施設側対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	39	8				現状を維持する。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	38	8	1			殆どの職員が、資格保有者であり、資格別人数の公表をしていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい環境になっているか。また、障害の特性に応じ、設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切されているか	26	20		1	■イターホソ設置について検討されてみては。	必要に応じた環境整備を図っていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	47					今後も、のびのび育つ環境を整備していく。
適切な支援の提供	1 子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析された上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画が作成されているか	42	5				子どもたち・保護者のニーズに沿った計画作成に努めていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	47				■計画表のようなものをいただけると有難いですね。	療育の資質向上に向け引き続き積極的に取り組んでいく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	47					資質向上に向けた取り組みを継続していく。
	4 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	42	5			■どうすれば参加できるかをよく考えて取り組んでいます。	研鑽を積み重ねていく。
	5 児等発達支援の場合は保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	18	28	1		■実施にあたっては、なかなか難しいところもありますね。	ニーズの把握に努め、機会の検討を行っていく。
保護者へ	1 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	44	2	1			今後も親切・丁寧な説明を心掛ける。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	47					説明と併せ、計画表に沿った支援内容の実施に努めていく。
	3 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われているか	47					保護者向けの研修会・講習会などを実施している。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	施設側対応
の説明等	4 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	41	6			■連絡ノートの効用が有り難い。そして重宝しています。 ■1日の様子がよく分かります。 ⇒お尋ねもしやすい。	送迎時、対面時等様々な機会を捉え情報提供と共有に努めていく。
	5 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	37	9	1			保護者からの情報収集にも努め、相乗効果を期するものとしていく。
保護者への説明等（続き）	6 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	24	5	1		開催については未実施のままであり、今後の検討としていく。
	7 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	28	17	1	1		対応マニュアルを基本としながらも個々のケースに沿った迅速な対応に努めていく。
	8 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	39	8				引き続き、きめ細やかな配慮を心掛ける。
	9 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定などについて、子どもや保護者に対して発信しているか	42	5				HPに加え、書面での定期的な発信についても検討していく。
	10 個人情報の取扱いに十分注意されているか	36	9	1	1		再度、管理マニュアルを整理する。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	36	9	1	1		再度、管理マニュアルを整理する。
	2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	21	2	4		訓練は実施している。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか	45	1	1		■（学校が）代休の時などは（早く行きたくて）朝からそわそわしています。	子どもたち楽しみと支援者の楽しみとが一致している。そんな施設を目指していきたい。
	2 事業所の支援に満足しているか	44	3			■問題が起こった時一緒になって考えていただき、そしてその後の後押しを心強く感謝しています。	療育を基本テーマとし、子どもたちの発達を支援・協力出来る施設であり続けたい。

【チェック項目の欄に関する注釈】

「本人にわかりやすく構造化された環境」とは

この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

「児童発達支援計画」又は「放課後等デイサービス計画」とは

児童発達支援又は放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

「活動プログラム」とは

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせで実施されることが想定されています。

【保護者からの評価】

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	施設側対応
----	--------	----	---------------	-----	-------	-----	-------

- (1) 回答欄の「どちらともいえない」は、「いいえ」と同意語とみなすのが妥当と思える。そういう観点で検証すれば施設の環境・体制整備は、一定の評価を得ながらも、更なる専門性を磨き、そしてより一層適切な配置に努めていくことが求められている。それはまた保護者からの更なる期待感との表裏一体を成すものと捉えるべきであろう。
- (2) 次に適切な支援の提供という点において、支援に必要な項目が選択計画され、そして具体的な支援内容が実施されている。「計画」「実践」とも高い評価を得ており、今後ともその活動プログラムが固定化されることの無いよう更に工夫を継続していきたい。
- (3) 保護者向けへの定期的な面談、育児に関する助言等の支援に対して、やはり多くの保護者からのつばめ会に対する期待感が伺われた。このことは終わりのない事柄かもしれないが、やはり支援者にとっては片時も忘れてはならない大切な事と認識すべきであろう。
- (4) 併せて保護者同士の連携、保護者会の開催やその活動支援という事柄に対しても保護者の関心は高い。個人情報取り扱いについても十分な注意と管理。保護者からの苦情に対する迅速適切な対応、同時に施設側からもそれらの伝達等・保護者と施設側とのお互いの意思の疎通、配慮が求められるところである。
- (5) これらすべては、つばめ会が目指す健全な子どもたちの療育の過程における重要な要素であり、支援者一人ひとりに求められる期待の大きさ・深さを示している。併せて組織管理者に求められる重要な課題であろう。